

特定作物統計調査

令和7年産小豆、いんげん及びらっかせい（乾燥子実）の作付面積及び収穫量

**令和7年産小豆、いんげん及びらっかせいの収穫量は、
前年産に比べそれぞれ3%、4%、9%減少**

【調査結果の概要】

1 小豆

作付面積は2万4,200haで、前年産に比べ200ha（1%）増加した。
収穫量は4万5,100tで、前年産に比べ1,600t（3%）減少した。

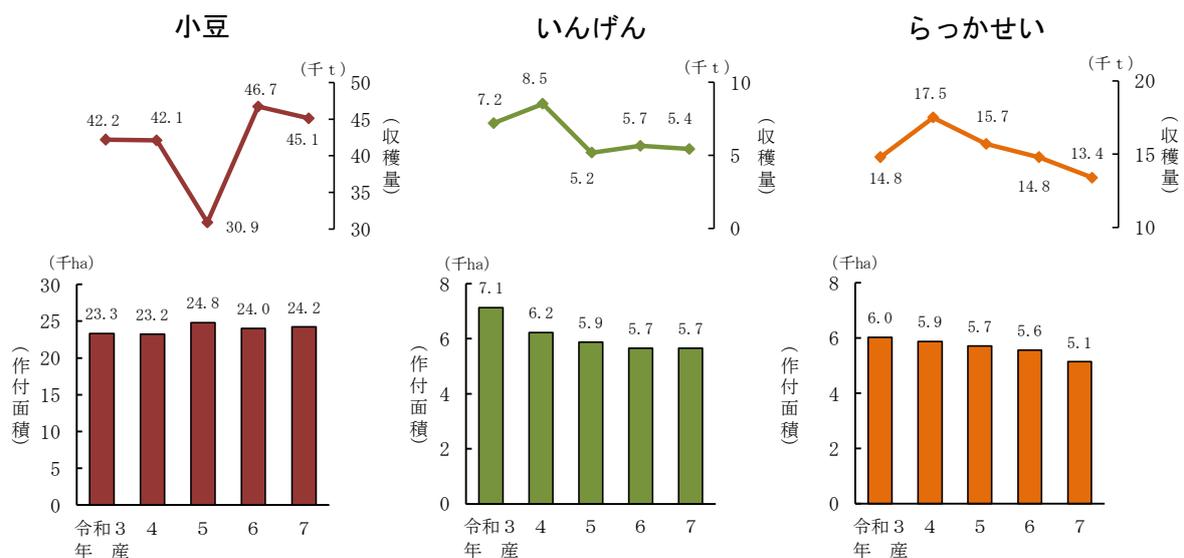
2 いんげん

作付面積は5,650haで、前年産並みとなった。
収穫量は5,430tで、前年産に比べ220t（4%）減少した。

3 らっかせい

作付面積は5,140haで、前年産に比べ420ha（8%）減少した。
これは、高齢化による労力不足等に伴う作付中止があったためである。
収穫量は1万3,400tで、前年産に比べ1,400t（9%）減少した。

図1 令和7年産小豆、いんげん及びらっかせい（乾燥子実）の作付面積及び収穫量（全国）



○ 「乾燥子実」とは、食用を目的に未成熟（完熟期以前）で収穫されるもの（さやいんげん等）を除いたものをいう。なお、らっかせいはさやつきのものをいう。

◎ 累年データ

小豆、いんげん及びらっかせい（乾燥子実）の作付面積、
10a当たり収量及び収穫量の推移（全国）

| 区 分 | 小豆 | | | いんげん | | |
|--------|--------|------------------|--------|-------|------------------|--------|
| | 作付面積 | 10 a 当 たり 収 量 | 収 穫 量 | 作付面積 | 10 a 当 たり 収 量 | 収 穫 量 |
| | ha | kg | t | ha | kg | t |
| 平成28年産 | 21,300 | 138 | 29,500 | 8,560 | 66 | 5,650 |
| 29 | 22,700 | 235 | 53,400 | 7,150 | 236 | 16,900 |
| 30 | 23,700 | 178 | 42,100 | 7,350 | 133 | 9,760 |
| 令和元 | 25,500 | 232 | 59,100 | 6,860 | 195 | 13,400 |
| 2 | 26,600 | 195 | 51,900 | 7,370 | 67 | 4,920 |
| 3 | 23,300 | 181 | 42,200 | 7,130 | 101 | 7,200 |
| 4 | 23,200 | 181 | 42,100 | 6,220 | 137 | 8,530 |
| 5 | 24,800 | 125 | 30,900 | 5,870 | 88 | 5,180 |
| 6 | 24,000 | 195 | 46,700 | 5,650 | 100 | 5,650 |
| 7（概数） | 24,200 | 186 | 45,100 | 5,650 | 96 | 5,430 |

| 区 分 | らっかせい | | |
|--------|-------|------------------|--------|
| | 作付面積 | 10 a 当 たり 収 量 | 収 穫 量 |
| | ha | kg | t |
| 平成28年産 | 6,550 | 237 | 15,500 |
| 29 | 6,420 | 240 | 15,400 |
| 30 | 6,370 | 245 | 15,600 |
| 令和元 | 6,330 | 196 | 12,400 |
| 2 | 6,220 | 212 | 13,200 |
| 3 | 6,020 | 246 | 14,800 |
| 4 | 5,870 | 298 | 17,500 |
| 5 | 5,710 | 275 | 15,700 |
| 6 | 5,560 | 266 | 14,800 |
| 7（概数） | 5,140 | 261 | 13,400 |

資料：農林水産省統計部「特定作物統計」

【調査結果】

1 小豆（乾燥子実）

(1) 作付面積

作付面積は2万4,200haで、前年産に比べ200ha（1%）増加した。

(2) 10aあたり収量

10aあたり収量は186kgで、前年産を9kg（5%）下回った。

なお、10aあたり平均収量対比は100%となった。

(3) 収穫量

収穫量は4万5,100tで、前年産に比べ1,600t（3%）減少した。

なお、都道府県別の収穫量割合は、北海道が全国の97%を占めている。

図2 小豆の作付面積、10aあたり収量及び収穫量の推移（全国）

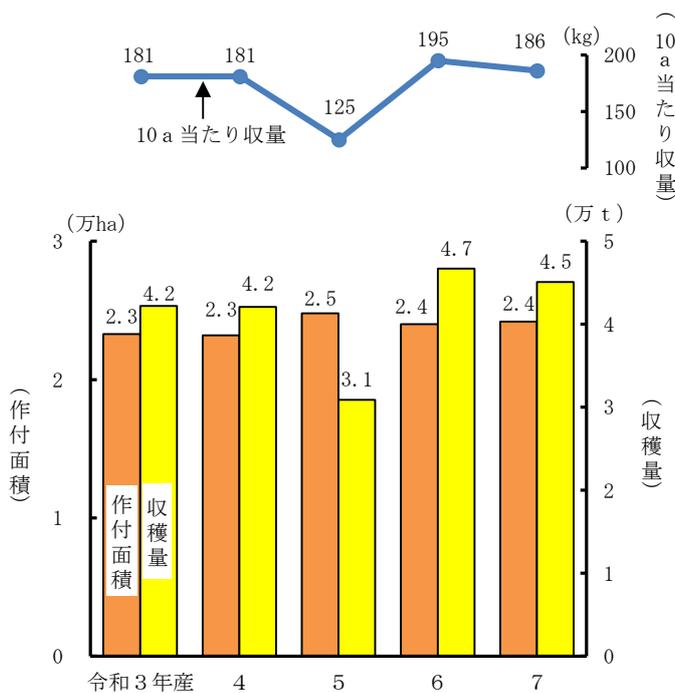


図3 令和7年産小豆の都道府県別収穫量及び割合（全国）

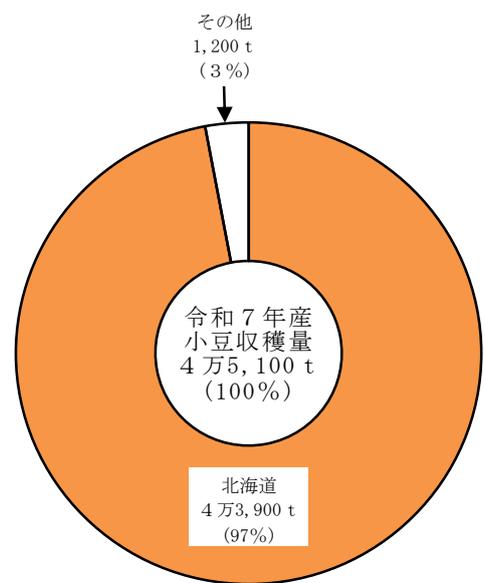


表1 令和7年産小豆の作付面積、10aあたり収量及び収穫量

| 区分 | 作付面積 | 10aあたり収量 | 収穫量 | 前年産との比較 | | | | | | (参考) | | | |
|----|--------|----------|--------|---------|-----|----------|----|-----|----|-------------|------------|-----|-----|
| | | | | 作付面積 | | 10aあたり収量 | | 収穫量 | | 10aあたり平均収量対 | 10aあたり平均収量 | | |
| | | | | 対差 | 対比 | 対差 | 対比 | 対差 | 対比 | | | | |
| 小豆 | ha | kg | t | ha | % | kg | % | t | % | % | kg | | |
| | 24,200 | 186 | 45,100 | 200 | 101 | △ | 9 | 95 | △ | 1,600 | 97 | 100 | 186 |

注：1 「(参考) 10aあたり平均収量対比」とは、10aあたり平均収量（前年産を起点とした過去7か年のうち、最高及び最低を除いた5か年の平均値）に対する当年産の10aあたり収量の比率である（以下同じ。）。

2 「△」は負数又は減少したものであることを示す（以下同じ。）。

2 いんげん（乾燥子実）

(1) 作付面積

作付面積は 5,650ha で、前年産並みとなった。

(2) 10 a 当たり収量

10 a 当たり収量は 96kg で、前年産を 4 kg（4%）下回った。

なお、10 a 当たり平均収量対比は 86% となった。

これは、主産地である北海道において、開花後に高温が続いたことにより落花がみられ、着さや数が減少したためである。

(3) 収穫量

収穫量は 5,430 t で、前年産に比べ 220 t（4%）減少した。

なお、都道府県別の収穫量割合は、北海道が全国の 95% を占めている。

図4 いんげんの作付面積、10 a 当たり収量及び収穫量の推移（全国）

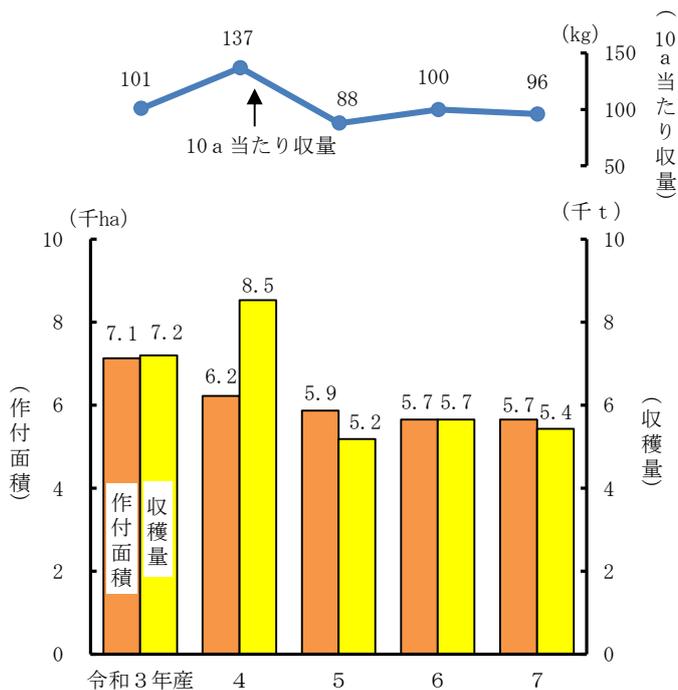


図5 令和7年産いんげんの都道府県別収穫量及び割合（全国）

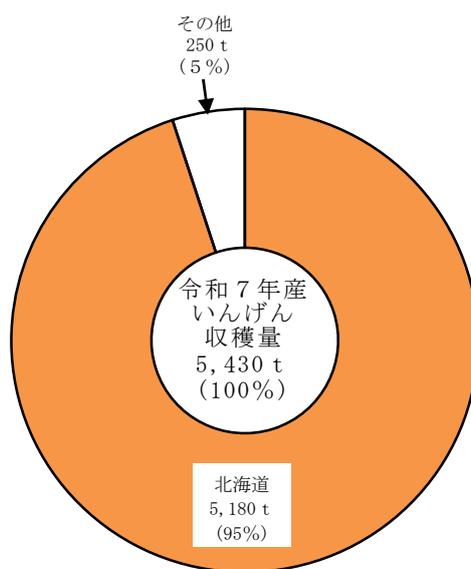


表2 令和7年産いんげんの作付面積、10 a 当たり収量及び収穫量

| 区分 | 作付面積 | 10 a 当たり収量 | 収穫量 | 前年産との比較 | | | | | | (参考) | | | |
|------|-------|------------|-------|---------|-----|------------|----|-----|----|---------------|--------------|----|-----|
| | | | | 作付面積 | | 10 a 当たり収量 | | 収穫量 | | 10 a 当たり平均収量対 | 10 a 当たり平均収量 | | |
| | | | | 対差 | 対比 | 対差 | 対比 | 対差 | 対比 | | | | |
| ha | kg | t | ha | % | kg | % | t | % | % | kg | | | |
| いんげん | 5,650 | 96 | 5,430 | 0 | 100 | △ | 4 | 96 | △ | 220 | 96 | 86 | 112 |

3 らっかせい（乾燥子実）

(1) 作付面積

作付面積は5,140haで、前年産に比べ420ha（8%）減少した。
これは、高齢化による労力不足等に伴う作付中止があったためである。

(2) 10 a 当たり収量

10 a 当たり収量は261kgで、前年産を5kg（2%）下回った。
なお、10 a 当たり平均収量対比は105%となった。

(3) 収穫量

収穫量は1万3,400 tで、前年産に比べ1,400 t（9%）減少した。
なお、都道府県別の収穫量割合は、千葉県が全国の86%を占めている。

図6 らっかせいの作付面積、10 a 当たり収量及び収穫量の推移（全国）

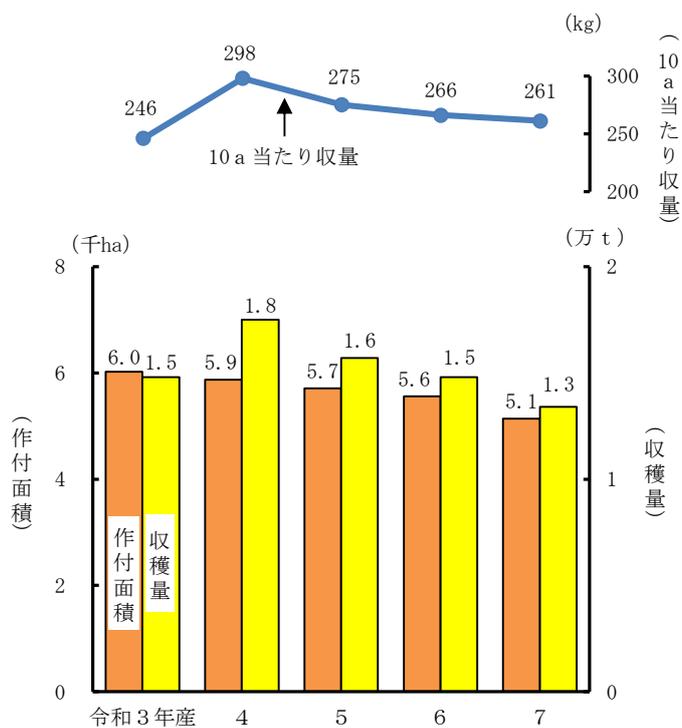


図7 令和7年産らっかせいの都道府県別収穫量及び割合（全国）

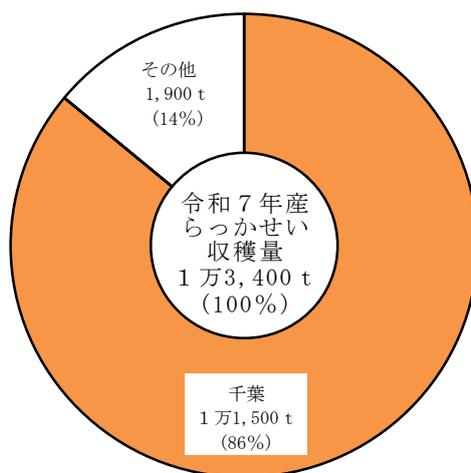


表3 令和7年産らっかせいの作付面積、10 a 当たり収量及び収穫量

| 区分 | 作付面積 | 10 a 当たり収量 | 収穫量 | 前年産との比較 | | | | | | (参考) | | | | |
|-------|-------|------------|--------|---------|-----|------------|----|-----|----|---------------|--------------|----|-----|-----|
| | | | | 作付面積 | | 10 a 当たり収量 | | 収穫量 | | 10 a 当たり平均収量対 | 10 a 当たり平均収量 | | | |
| | | | | 対差 | 対比 | 対差 | 対比 | 対差 | 対比 | | | | | |
| ha | kg | t | ha | % | kg | % | t | % | % | kg | | | | |
| らっかせい | 5,140 | 261 | 13,400 | △ | 420 | 92 | △ | 5 | 98 | △ | 1,400 | 91 | 105 | 249 |

【 統計表 】

<https://www.e-stat.go.jp/stat-search/files/data?sinfid=000040401227&ext=xls>

【 調査の概要 】

https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/tokutei_sakumotu/gaiyou/

【 調査結果の主な利活用 】

- ・ 小豆、いんげん及びらっかせいの関税割当数量の算定のための資料
- ・ 小豆、いんげん及びらっかせいに関する生産振興に資する各種事業の推進のための資料
- ・ 農業保険法（昭和22年法律第185号）に基づく畑作物共済事業の適切な運営のための資料

【 ホームページ掲載案内 】

- ・ 本資料は、農林水産省ホームページの統計情報に掲載している分野別分類「作付面積・生産量、家畜の頭数など」、品目別分類「いも・雑穀・豆」の「特定作物統計調査」で御覧いただけます。
https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/tokutei_sakumotu/#y3
- ・ 本資料の数値は概数値であり、確定した詳細な数値はホームページに掲載（令和8年8月予定）します。
- ・ 公表した数値の正誤情報は、ホームページでお知らせします。

【 関連リンク 】

農林水産政策関係ページ：農林水産省＞組織別から探す＞大臣官房

<https://www.maff.go.jp/j/kanbo/>

農業生産振興関係ページ：農林水産省＞組織別から探す＞農産局

<https://www.maff.go.jp/j/nousan/>

お問合せ先

◎本統計調査結果について

農林水産省 大臣官房統計部

生産流通消費統計課 普通作物統計班

電話：（代表）03-3502-8111 内線3680

（直通）03-6744-2044

◎農林水産統計全般について

農林水産省 大臣官房統計部

統計企画管理官 統計広報推進班

電話：（代表）03-3502-8111 内線3589

（直通）03-6744-2037



政府統計

政府統計の総合窓口
(e-Stat)

<https://www.e-stat.go.jp/>



SAFF

データのカで。

農林水産統計
Statistics of Agriculture,
Forestry and Fisheries